

October, 2016

55

Academia

福岡大学



40	37	35	33	31	29	27	25	21	19	15	12	2
特集	就職活動体験談	私の決定打	就活メモリー	福岡大学病院 臨床研修医 岸出大紀さん (医学部医学科 2015年卒業)	株式会社日本政策投資銀行 九州支店 業務課 寺山美智子さん (法学部経営法学科 2011年卒業)	福岡大学病院 総合周産期母子医療センター(新告児部門) 岸川麻耶里さん (医学部看護学科 2011年卒業)	時代を駆ける先輩たち 一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター 普及開発課 永田俊輔さん(理学部地球圏科学科 2008年卒業) (理学研究科地球圏科学専攻博士課程前期 2010年修了)	研究室を訪ねて 古賀一八 工学部建築学科 教授 熊本地震の発生翌日には被災地へ入り現地調査 災害に強い住まい造りを目指す	福眼力 グーミーズによるオープンキャンパスレポート	充実 CAMPUS LIFE 人文学部東アジア地域言語学科 4年次生 カトラークリスさん	情熱の証 器楽部 ・ハートミントン部	Active Learning! 学びの現場から 人文学部教育・臨床心理学科 専門教育科目 地域教育デザイン論 ヒポクラテスの系譜 幅広い専門医が結集し、 「肝胆脾を含む消化器全領域の疾患に対応」 平成28年度科研費の採択結果 寄付者ご芳名一覧 平成27年度学校法人福岡大学収支決算 ななくま通信

就職活動体験談

私の決定打

建学の精神	教育研究の理念
思想堅実・穏健中正 質実剛健・積極進取	○「人材教育」と「人間教育」の共存 ○「学部教育」と「総合教育」の共存 ○「地域性」と「国際性」の共存



人生の一つの節目、「就職」。
 人の数だけそれぞれの人生があるように
 それぞれが進む道も無数にある。
 だが、自分のこれからを考えるうえで
 内定を得た先輩たちのアドバイスは
 大きなヒントになるだろう。
 そのヒントをもとに、私の決定打を探そう。

アクティブに自ら将来を切り開いた学生たち!

就職活動体験談

今回の特集は、2016年度の就職活動で内定を獲得した
各学部・大学院の10人の学生たちに本音で語ってもらいました。

自ら実践して感じた重要ポイントや成功の秘訣とは?
叶えたい夢がある人も、まだやりたいことが見つからない人も。

先輩たちの貴重な生の声を、
それぞれの将来に役立ててください。



What's 就職・進路支援センター

スタッフが、就職・進路に関するあらゆる相談に応じ、
適切にアドバイス。求人情報、セミナー、インターンシップなど、
就職・進路全般に関する支援をしています。

What's エクステンションセンター

資格取得や採用試験対策の講座を数多く準備。
福大生に合わせたカリキュラムに加え、
安価な受講料や学内で受講できる(一部を除く)ことも魅力。
皆さんのキャリアアップをサポートします。

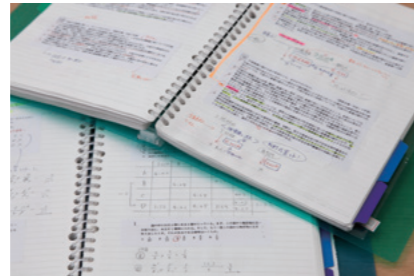
先輩に伝えたい私なりの3つのポイント

内定先: 大分県庁
法学部
経営法学科 井上 大使 さん

- 決定打**
1. 計画を立て目的意識を持って行動する
 2. 常に成長を追い求める
 3. 目標達成を諦めずに努力し続ける

緻密な時間割で 公務員試験合格

3年次の春からエクステンションセンターの公務員採用試験対策講座を受講。夏には東日本復興支援ボランティアに参加して多くの人の役に立つ仕事が出来たとあらためて感じ、公務員一本に絞って頑張ると決意をしました。学部と講座の勉強を両立させるべく、双方の授業に集中して取り組み、自習は一日10時間に及ぶことも。試験範囲が膨大なため、心掛けたのは計画的に学ぶこと。20以



間違った問題を集約した自習ノート

上ある試験科目を網羅して毎日少しずつでも頭に入れられるよう、緻密な時間割をつくって勉強しました。苦しい時期を乗り越え合格できたのは、明確な目標と同じ公務員の夢を持った友人たちと切磋琢磨できたおかげです。県庁職員として、大分県の農業を支え、その魅力を広く伝える仕事をしたいと考えています。



先輩に伝えたい私なりの3つのポイント

- 決定打**
1. 興味を持って何でも楽しくやってみる
 2. いろいろな人と会って話す
 3. 自分に限界をつくらない

内定先: JTBグループ(株式会社JTB九州)
人文学部
フランス語学科 吉永 沙織 さん

親しみやすさを 面接でアピール

一年間のフランス留学で地元・九州の知名度が世界では低いという現実を知り、地域の活性化につながる仕事に興味を持つようになりました。内定先の企業は、旅行のほか各地域でのイベント業務も行っており、語学力を生かして国内外で幅広く活躍できると考え志望しました。面接では私の強みである「親しみやすさ」をアピール。イベントMCや動物園での



帰国後、TCF(フランス語学カテスト)を受験して語学力アップ

林間学校のスタッフなど、人を楽しめたいと取り組んだ数々のアルバイトの経験を話しました。ライバルの学生たちは留学経験者ばかりだったので、同じような話題を避けたことも良かったと思います。人との縁を大切に、挑戦を心掛けた大学生活。そんな多くの有意義な体験が就職活動の糧になりました。



case/ 2. 海外インターンシップ

グローバルに活躍する人材育成のため、2012年度から海外でのインターンシップも実施。これまで、シンガポールやベトナムの日系企業での就業体験に95人の学生が参加しました。



case/ 1. 国内インターンシップ

在学中に企業等の現場で就業体験を行うプログラム。インターンシップでの体験を通して就業意識を身に付け、さらに自己の職業適性や将来の人生設計を深く考えるきっかけになります。



インターンシップ事前研修会でのマナー講習

後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

内定先：株式会社福岡銀行

商学部

貿易学科 佐々木 美佳 さん

- 決定打**
1. 人事の方に熱意を伝える
 2. OB・OG 訪問など、自分にできることは実践する
 3. なるべく多くの説明会やインターンシップに参加する

就職・進路支援センターを有効活用

「まずは選択肢を絞らずに、いろんな業界を見てみよう」。そう決めていた私は、20社を超える企業の説明会に参加。就職・進路支援センターに相談して、OB・OG訪問も行いました。こうした活動を通して、もともと興味があった銀行の業務を深く知り、個人のお客様さまや企業を支えるだけでなく、地域を活性化させるという仕事のやりがいも再認識しました。最終的には第一志望の銀行



就職サポートブックで綿密にスケジュールを管理

の内定を得ましたが、さまざまな業界について見聞きした経験は私の視野を広げ、人間的な成長の糧となりました。また、学生アドバイザーの先輩方の熱心な助言や過去の面接記録などが載っている入社試験報告書など、就職・進路支援センターの有効活用は、苦勞が多い就職活動を成功へと導く鍵だと、今あらためて思っています。



後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

内定先：株式会社山善

経済学部

産業経済学科 楠本 真之介 さん

- 決定打**
1. 早めに準備して目標を定める
 2. 何かをやり遂げる経験をする
 3. 毎日を一生懸命に生きる

海外インターンシップの経験が自信に

就職活動前に大きな挑戦をしたいと決意し、就職・進路支援センター主催のベトナム海外インターンシップに参加。現地では街頭インタビューで市民のニーズを探るなどし、ベトナムでのビジネスチャンスについて考察するという課題に取り組み、視野が広がりました。この経験が自信となり、面接などの選考でもアピールポイントに。自分の可能性を広げるため



企業分析や面接対策などを記した「戦略ノート」

約60社の企業説明会に参加し、結果的に第一志望の専門商社から内定を得ることができました。エントリーシートへの添削や面接のアドバイスなど、親身に支えてくれた就職・進路支援センターの職員の方々には感謝の気持ちでいっぱい。後輩の皆さんも将来を切り開くために、ぜひ実のある大学生活を過ごしてください。



就職活動お役立ちアイテム

就職活動に役立つアイテムをピックアップ。時に支えとなり、時に励みとなる、福大生必見・必携のアイテムです。



就職活動体験記



就職活動体験記
公務員・教員編

先輩たちによるリアルな就活レポート。実体験に基づく後輩たちへのアドバイスは必見です。民間企業編と公務員・教員編があります。



入社試験報告書

各企業の選考スケジュールや試験内容、どのような面接が行われ、どんな質問を受けたかなどの先輩からの生の情報が詰まっています。



福岡大学指定履歴書

福岡大学の銘が入った履歴書。大学での学びや課外活動を経ての成長を書いて、最大限の自己PRにします。

case/ 4. 学内合同企業説明会

福大生の採用を積極的に考える企業が、多数集結する本学の学内合同企業説明会。各企業のブースでは、人事担当者から、業界の動向や採用職種、求める人材像などについての話を聞くことができます。他にも、学内個別企業説明会、業界研究セミナー、公務員採用説明会など、社会人と接する多くの機会を設けています。



case/ 3. 個別指導

就職・進路支援センターのサポートフロアではセンター職員、他、進路相談員・就職アドバイザー、キャリアカウンセラーなどが全学年を対象に学生の悩みや進路に関するさまざまな相談に応じています。エントリーシートや履歴書の書き方なども指導します。



後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

内定先：九州旅客鉄道株式会社

工学部

化学システム工学科 柳場 俊亮 さん

- 決定打**
1. どんな時でも落ち着く
 2. 自分の強みを信じる
 3. 気持ちを切り替えることが大事

部活の主将経験が未来を開く鍵に

中学生の頃からの夢だった列車の運転士。そこで本命の鉄道会社の説明会には「少しでも多くの情報をつかもう」と何度も繰り返し足を運びました。自分の強みとして面接でアピールしたのは、少林寺拳法部で50人以上の部員を引っ張ってきた主将の経験。主将になった当初はうまくまとめられず苦労したことや、それを密なコミュニケーションで乗り越えて全国



4年間打ち込んだ少林寺拳法部の胴着

大会に出場し、大きな達成感を得たことなどを話しました。内定を獲得できたのは、ありのままの人間性を出せたこと、周囲の支えのおかげだと思えます。福大は細やかなサポート体制が充実していますが、自分から求めなければ結果は得られません。能動的にアクションを起こしたからこそ、望む将来が切り開けたと感じています。



後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

内定先：塩野義製薬株式会社

理学部

化学科 岩本 佳奈 さん

- 決定打**
1. 自分と向き合い自分を知る
 2. 目的を持って行動する
 3. インターンシップに参加する

傾聴力で存在感を示す

就職活動は、インターンシップが重要。そのことは、大学やアルバイト先の先輩などからも聞いていたので、人とのつながりやインターネットを使って早いうちから募集情報にアンテナを張っていました。そして、数社のインターンシップに参加し、いざ参加すると、周囲は東京や大阪の大学の学生ばかり。それでも気後れせず自分らしさを出そうと奮闘しました。一貫して心掛けたのは傾聴の姿勢。なぜなら、製薬業界



エントリーシートは論理的かつ端的に

では医師のニーズを読み取るのが重要。そのことは、大学やアルバイト先の先輩などからも聞いていたので、人とのつながりやインターネットを使って早いうちから募集情報にアンテナを張っていました。そして、数社のインターンシップに参加し、いざ参加すると、周囲は東京や大阪の大学の学生ばかり。それでも気後れせず自分らしさを出そうと奮闘しました。一貫して心掛けたのは傾聴の姿勢。なぜなら、製薬業界



企業等に内定し、就職活動を終えた4年次生が、自らの活動を通して経験したことを、後輩たちにアドバイス。希望の業種・企業に内定した約30人が、就職ガイダンスでの体験報告、自らの経験を話すセミナー、座談会、個別相談会などを企画・実施し、後輩たちを応援します。



内定先：日本生命保険相互会社

スポーツ科学部

健康運動科学科 喜多村 周平 さん

後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

- 決定打**
1. 部活など自分のテーマに全力を尽くす
 2. 人の目を見て話す
 3. 丁寧な言葉遣いや礼儀を習慣付ける

主将として磨いた 人間力を糧に

ソフトボール部に所属し、1年次からレギュラーに。2年次の秋から主将を任せられ、3年次では全国大会で念願の上位入賞を果たしました。とはいえ平坦な道ではありません。主将として臨んだ最初の地方大会で初戦敗退。先輩方に助言を求め、後輩部長や他部の主将とも対話しながらチームの立て直しを図り、試行錯誤を重ねた末の結果でした。就職活動では、



勝利への思いを託した背番号10のユニフォーム

活動だけでなく、これからの人生を支える確かな力になると確信しています。

部活で鍛えたキャプテンシーを生かせる企業との出会いを求めて20社以上の説明会へ。最終的に、将来の営業リーダー候補を求める生命保険会社から内定を頂きました。チームの勝利という目標を見据え、地道な努力でつかなだ自信。就職

後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

- 決定打**
1. 毎回の授業に真剣に取り組む
 2. 就職活動のイベントには積極的に参加する
 3. 低学年の時から将来について考える

内定先：福岡記念病院

薬学部

薬学科 松岡 里於 さん

日々の勉強や努力が 将来につながる

薬局と病院。ずっと、どちらで働くか悩んでいました。しかし、学部の先生に相談したり、就職活動のイベントで話を聞いたりする中で、医師と連携して患者さんに寄り添う病院の薬剤師として幅広く活躍したいと思うようになりました。内定先の総合病院を志望したのは、多くの診療科があり、高度な専門知識を吸収できる環境に引かれたからです。以前に参加したインターンシップで、医師か



国家試験の勉強に欠かせない、通称「青本」

ら投げ掛けられた薬の質問にうまく答えられず、プロとして高みを目指したいという意識や勉強への意欲が高まった経験も後押しになりました。当然採用試験では、薬学の知識を問われるのであらためて日々の授業や復習の重要性に気付きました。今後もさらに勉強に励み、必ず薬剤師の国家試験に合格します。

就職活動お役立ちアイテム

就職活動に役立つアイテムをピックアップ。時に支えとなり、時に励ましとなる、福大生必見・必携のアイテムです。



就職サポートブック

就職ガイダンス時に配付。スケジュール管理のためのカレンダー、就職活動の流れや自己分析、職種・業界研究の方法、マナー、試験対策、面接対策などのポイントをまとめています。



キャリアデザインガイド

1年次生を対象に配付。将来に向けて学生生活でどのような構えや活動が必要かを、先輩たちからのアドバイスなども交えながら分かりやすく解説しています。



エクステンションセンターパンフレット

センターで開講される講座の概要、受講料・開講日などを掲載。より詳しいカリキュラム・講座日程等はガイダンスで説明します。「受講生からのメッセージ」も掲載しているので、講座のイメージがつかめます。

医学部卒業生

福岡大学病院 臨床研修医
斧出 大紀 さん
 医学部医学科 2015 年卒業

後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

- 決定打**
1. 目標を達成するための自分のスタイルをできるだけ早く確立する
 2. 卒業後の病院は現場を実際に見てから決める
 3. 人とのつながりを大切にする



大学で得た学びと「人とのつながり」という財産を基本に、人間性にも優れた執刀医を目指す



就活
サクセス
チャート

- 6学年** 10月、臨床研修先が、希望していた「福岡大学病院」に決定。3月、医師国家試験合格。
- 5学年** 「臨床修練」で「患者さんと同じ目線で話す」等、医師として生涯役立つ実践的な心構えや態度を身に付ける。
- 4学年** 全国共用試験である OSCE と CBT の勉強を通し、メリハリを利かせた「自分のスタイル」を磨く。
- 1学年** 医学部バレーボールサークルに入部。勉強と両立させる「自分のスタイル」を確立する。
- 入学** 「開業医として地域医療に貢献する父のような医師になりたい」と、臨床医学に定評のある本学医学部へ。

「さまざまな手術を学びたい」と面接で強く訴えた

多様な手術の助手として 研修を重ねる日々

医師国家試験に合格後、福岡大学病院で臨床研修を受けている斧出さん。本年9月まで出向していた福岡リハビリテーション病院・福岡リハ整形外科クリニックでは、骨折や捻挫などの手術で助手を務めていました。「多いときは1日に3〜4例の手術を行うこともありまして」と話す斧出さん。「多忙な毎日ですが、手術という医療行為



為の技術力をもっと高めたいと思っております」と真剣なまなざしを送ります。斧出さんは大阪の出身。お父さまは開業医として地域医療に携わっています。その背中を見て育ち、やがて臨床医を志します。進学先として福岡大学を選んだのは「臨床を重視し、地域医療の拠点であることに魅力を感じたから」でした。

理想とする 「手術の技術力が高い医師」を目指して 福岡大学病院を選択

医学部入学後、斧出さんは大きな財産を得ました。それは、人とのつながりです。授業はもちろん、1学年から入部した

医学部バレーボールサークルなどで得た仲間や先輩、後輩との「つながり」の中で「人としての幅を広げることができました」と振り返ります。やがて6学年時卒業後に臨床研修を受ける病院を選ぶ際、斧出さんは自己分析を行い、「臨床医特に患者さんの疾患に自らの執刀で立ち向かい、手術の技術力が高い医師」という理想を見いだしました。その理想像に近づくため福岡大学病院が最良だと選択したそうです。臨床修練で現場をよく知っており、また本院での研修の他に3カ所の病院で研修を受けることができることに魅力を感じました。「さまざまな症例

の手術をできるだけ多く経験したかったです。面接ではそのことを強く訴えました。「私は多くの手術を、患者さんにとっての希望を叶えることができました。その一念願を叶えることができました。その後は国家試験合格に向けてまい進し、見事に専門を突破しました。現在の目標は知識を広げ技術を磨きつつ、多様な経験を重ねてさらに豊かな人間性を育むこと。」「どれも医師として大切なことですから」と力強い答えが返ってきました。

【特集運動】

就活メモリー

さまざまな職場で働く若き先輩たちの貴重な言葉が、就職活動を後押ししてくれました。

内定先：宗像市 専門職（文化財）

文系大学院

人文科学研究科 史学専攻 **池田 拓** さん

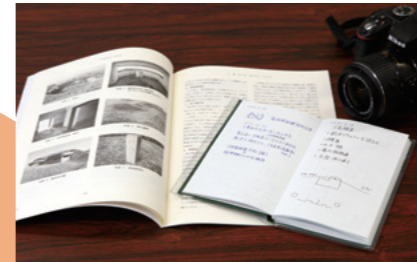


本心と向き合い
夢をつかむ

後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

- 決定打**
1. 自分の研究をやり遂げる
 2. 興味を持って積極的に動く
 3. 焦らずにじっくり将来を考える

一度は歩みを止めた考古学研究の道。4年次になり、周囲の学生同様に就職活動を行い、卒業後は民間企業に就職しました。しかし、入社して間もない頃から長い人生について真剣に考えるようになり、再びやりたいことを突き詰めようと奮起して大学院へ。進学後は近現代史の研究に没頭。特に戦争遺跡に着目し、宗像市にある大島砲台の研究では、



発掘調査で欠かせない記録用カメラとメモ帳

現存する文献などには詳細に記されていない機能や特徴を解き明かし、論文にまとめました。そして公務員試験を受験し、合格。第一志望だった宗像市の専門職員として採用されることに。非常に狭き門でしたが、覚悟を決めて取り組んだ研究活動が認められ、少ないチャンスをつかむことができました。

内定先：富士通株式会社

理系大学院

工学研究科 電子情報工学専攻 **中村 みなみ** さん



研究で培った自信を胸に
社会へ

後輩に伝えたい私なりの3つのポイント

- 決定打**
1. 就職活動は早め早めに動く
 2. 好きなことを好きなだけやる
 3. できるだけ多くの人と関わる

大学院では、スマートフォンやタブレットにも使われている自然言語処理という分野を研究し、Java や Python などプログラム言語の知見も広がりました。大学院で研究し開発したアプリケーションについて、学会発表も経験。内定先の企業をはじめ、面接の席でその研究成果を高く評価してくださる会社も多く、手応えを感じまし



院生5人で協力して開発した甘木鉄道のウェブサイト

た。塾講師のアルバイトや、グループで取り組んだシステムの開発を通じて人との関わり方を学んだことも、大学院生活で得た成果の一つです。実は学部生時代にも就職活動も経験。当時の知識ではシステムエンジニアとして力も発揮するのは難しいと感じ、大学院へ。あらためて、進学生として力も発揮するのは難しいと感じ、大学院へ。あらためて、進学生として力も

就職・進路支援センター からのお知らせ

知名度やイメージに左右されず、きちんと業界や企業について理解すること。それが就職活動の第一歩です。

3年次生のうちに進めておくべき就職活動の準備として業界研究があります。これを行う一番の目的は将来の選択肢を広げるためです。毎年、皆さんの活動を見ていてもっていないと思うのが、名前を聞いたことがある企業しか受けない人が多いことです。社会には優良な企業がたくさんあります。その存在を知らないというだけで、採用試験を受ける機会を逃してしまうのはもったいないことです。もしかしたらその企業は自分に合っているかもしれません。まずは、業界や職種、そして企業を知ることから始めましょう。業界研究は、本やインターネットで調べるだけでなく、本学主催のセミナーを活用し、企業の人事担当者や学生アドバイザーの生の声をヒントに、漠然としたイメージをできるだけ具体化することが大切です。就職活動はまだまだ先のことと思わず、少しずつできることから取り組みましょう。個別の相談にも

随時お応えしますので、講義の空き時間には、ぜひ1号館1階の就職・進路支援センターにお越しください。

就職・進路支援センター
事務室
假野 陽介 さん



業界研究を学内セミナーで
学生アドバイザーによるセミナー
就職活動を終えた4年次生による体験談の共有
11月下旬に数回開催

業界研究セミナー
約20の企業の人事担当者を招き、業界についての説明を展開
12月上旬に開催

【就職・進路支援センター公式ウェブサイト】
<http://www.career.fukuoka-u.ac.jp>

FUポータルやFacebook, Twitterでも
就職や進路に役立つ情報を
随時発信中です。
ぜひチェックしてみてください。
上記ウェブサイトよりリンクしています。



- 4年次4月中旬 九州支店長から電話をもらう。支店へ駆け付けると直接御本人の口から「内定」の言葉を頂く。
- 3年次 就職・進路支援センターで情報収集をしていたところ、日本政策投資銀行を「発見」。第一志望に。
- 3年次 就職活動開始。金融業界に目標を定め、就職・進路支援センターを活用。「業界研究セミナー」にも参加。
- 2年次 オーストラリアのグリフィス大学で1カ月の「海外研修」。異なる文化や習慣を知り、見聞を広める。
- 1年次 親に負担を掛けたくないの思いから、学業の傍ら週に6日アルバイト。「接客で磨いた“聴く力”は、現在の業務に役立っています」。

就活
サクセス
チャート

● 就活アドバイス

「対象とする会社に合う」自分の強みを3つは常に考えておきましょう。会社の特長や個性を調べ、「この会社なら自分のこの強みが生かせる」と実践的な自己分析を行ってれば、面接で自分のアピールポイントを、説得力を持って伝えることができます。



- 4年次10月 採用通知。まだ迷っていたが「大学院は今じゃなくても行ける」と入職を決意。2月に看護師国家試験に合格し、希望していた総合周産期母子医療センターに。
- 4年次6月 助産師を視野に入れた大学院進学も考えながら、福岡大学病院の病院見学説明会へ。「就職するならここ」と決める。
- 3年次 「看護学実習」で出産に立ち会う。現在の仕事につながった、貴重な体験になる。
- 1〜2年次 福岡大学医学部看護学科で勉学に励む傍ら、学資のためにアルバイトも。
- 入学 入学前は補助教員として小学校に勤務。「自分は教育よりもケアに向いている」と考え、「看護師を目指そう」と新たに決意。その後、受験準備の傍ら大牟田市役所で働いて、介護保険や国保に携わり、医療の大切さを知る。

就活
サクセス
チャート

● 就活アドバイス

大きな総合病院では「病院見学説明会」が開催されます。このイベントには必ず参加しましょう。施設や設備、そして病院の雰囲気。自分と相性の合う職場かどうか、実見である程度は判断が付きまします。働く前の「現場見学」は欠かせません。



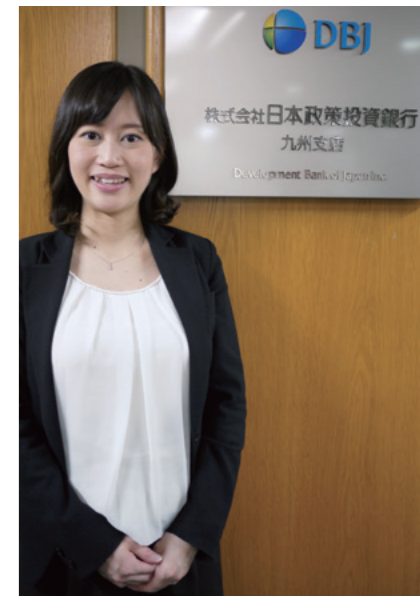
法律の知識を生かし社会に貢献したい。その思いで現在の会社へ

日本のため、地域のため 人々のためになる融資を

日本や地域の発展に、金融で貢献することを目的とした政府系の金融機関である、日本政策投資銀行。寺山さんが携わっているのは、そのような融資業務。「当行では、通常の融資の他、当行が開発した独自の評価システムで環境や防災、従業員への健康配慮への取り組みの優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定する融資制度などもあります」。九州支店のお客さまは、九州5県（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分）に所在する企業で、半導体や食品等の「モノづくり」や個性的な「マチづくり」プロジェクトなど多種多彩。その業種や取り組みの背景をよく知るために、新聞などの情報収集は欠かせません。お客さまの話もじっくりと聴き、融資を行います。融資対象の事業が完遂するのが「何よりの喜び」と、寺山さん。「日本のため、地域のため、人々のために働く」という彼女のモットーは、大学時代の学びや経験で養われました。

現在の目標は 「職場に必要な人材で在り続ける」こと

国際社会における法の役割に興味を持ち、経営法学科を選んだ寺山さん。2年次に「民法」に関するゼミで「クレジットカードの不正利用」など身近な問題を考察、「暮らしを守り、人を守る」という法律の意義を知りました。法学の知識が深まるにつれ「何かのかたちで社会に貢献したい」という意識が芽生えたと言います。就職・進路支援センターで情報を集める過程の中、銀行業務には法律の知識が欠かせないことを知ります。「しかも銀行員は公共性の高い職種。自分の理想に叶うと思えました。それからは、センターで銀行に関するデータを集め「発見した」のが現在の職場です。ここを第一志望と決め、エントリーシートの添削や面接指導などセンターのサポートに支えられて最終面接へ。「社会に貢献したい」という思いをストレートに語り、内定を得ました。入行6年目、現在の目標は「この職場に必要な人材で在り続けること」と言う寺山さんです。



就活メモリー

さまざまな職場で働く若き先輩たちの貴重な言葉が、就職活動を後押ししてくれます。

実習で「出産」に立ち会い、生命の誕生をケアする看護師を第一希望に

周産期医療の中心的施設で 未熟児の発育管理・治療を担当

福岡大学病院の総合周産期母子医療センターは、妊娠・出産から新生児治療を対象とする「周産期医療」を行う施設。地域の周産期医療の中心的な役割を担っています。岸川さんが担当しているのは、新生児部門の中のNICU（新生児集中治療病棟）。早産で生まれた未熟児の発育管理・治療を主に担当しています。「生まれたばかりの赤ちゃんは、体が小さくとても繊細。投入する薬剤の量が0.1cc違っただけで、重篤な症状を引き起こす可能性があります。勤務中は常に緊張しています」と、岸川さん。担当する新生児を「お母さんと一緒に育てている」という思いで見守ります。無事に育ち、退院していく親子の姿を見るのが、何よりの喜びです。

福岡大学病院に入職したとき、現在の部署を希望。その願いが図らずも叶い、それ以来ずっと総合周産期母子医療センターに勤務する岸川さん。「出産」への特別な思いは、看護学科での実習の中で芽生えました。

命を懸けて生み出される生命 その健やかな成長を支える

子どもが好きで小学校に勤務するのが夢だった岸川さんは、児童教育学科のある大学へ。教員資格を得て、卒業後は補助教員として小学校に1年間勤務。仕事に励む中で「自分は教育よりもケアに向いている」と考えるようになりました。子どもたちの健やかな成長を支える仕事…。「看護師を目指そう」。祖母と叔母が看護師だったことも決め手になりました。福岡大学医学部看護学科に入学し、さまざまなことを学び、体験する日々。中でも3年次の「看護学実習」で出産に立ち会ったことが大きな転機に。「妊婦さんが“お母さんスイッチ”を入れて、命を懸けて一つの生命を生み出すという奇跡」に大きく感動したのです。「この“奇跡”をサポートしたい」と心に決め、実習をした福岡大学病院の病院見学説明会へ。大学病院ならではの先進性、施設やシステムの充実などをじっくりと実見。確かなモチベーションを持って就職活動に挑み、希望を叶えました。6年目の今、目標は「良きバディ（仲間）となる後輩を育てること」です。





サンゴの美しさに魅了され この道へ

水族館の飼育員、「サンゴ」の研究員
現在は学習イベントの企画等を担当

美しい海を見晴らす、広大な海洋博物館。その一角に「沖縄美ら海水族館」があります。最初に案内してもらったのは、水族館内の「サンゴの海」水槽。大きな水槽の前で写真撮影の準備中、子どもが永田さんに魚の名前を尋ねました。問髪を入れずに答える様子に目を丸くする取材スタッフ。「サンゴを研究していれば、周りに集まってくる魚のことも当然覚えます」と、永田さんは少し照れながらもほほ笑みまじりました。

永田さんが所属する沖縄美ら島財団は「首里城公園」や「沖縄美ら海水族館」「美

ら島自然学校」等を管理運営する一般財団法人。亜熱帯性動植物、海洋文化などに関する調査・研究のほか、知識の普及・啓発などを行い、環境保全への寄与や地域社会への貢献を主な目的の一つとして活動しています。永田さんは大学院博士課程前期を修了後、本財団に入職。一年目は「沖縄美ら海水族館」で飼育員を務めました。担当エリアは大学と大学院で研究を深めたサンゴ。サンゴの話になると永田さんの目が、いつそう輝きを増します。「サンゴは植物だと思われがちですが、実は骨と肉がある動物なのです。また、サンゴの体内には褐虫藻と呼ばれる単細胞の藻類が共生しています。サンゴは動物なので酸素を吸収し二酸化炭素を排出します。褐虫

藻はその二酸化炭素を吸収して光合成を行い、酸素を放出します」と永田さんは語ります。その語り口には、一つのこと懸命に努力してきた人に共通する、静かな強さと誠実さが感じられました。

永田さんは二年目から、財団の研究機関である「総合研究センター」でサンゴの研究補助員を務め、現在は同センターの普及開発課で自然学習イベントの企画・運営などに携わっています。研究と企画の仕事。求められる能力は異なりますが、「スムーズに取り組んでいる」と永田さんは言います。「調査・研究に必要な、論理的思考力。企画・運営に必要な、自分の知識や考えを分かりやすく伝える力。それらは学生時代に鍛えましたから」。

藻は共生している」と永田さんは言います。「調査・研究に必要な、論理的思考力。企画・運営に必要な、自分の知識や考えを分かりやすく伝える力。それらは学生時代に鍛えましたから」。



世界最大級のスケールを持つ「沖縄美ら海水族館」。アジアはもとより世界中から観光客が訪れる

一般財団法人 沖縄美ら島財団
総合研究センター 普及開発課

永田 俊輔 さん

[理学部地球圏科学科 2008年卒業]

[理学研究科地球圏科学専攻博士課程前期 2010年修了]

サンゴの研究と論文作成の過程で 論理的思考力を身に付ける

少年時代から自然が好きで、高校の頃は理系科目が得意だった永田さん。理学部地球圏科学科に進学し、1、2年次は、物理学、化学、生物学、地学など自然科学の基礎領域を幅広く学びました。3年次の専門分野選択では、学科の中でもフィールドワークが多い「地球科学分野」を選択。4年次の研究室配属の際、海での調査に興味を引かれ、サンゴに関する研究室に所属します。そして永田さんは、調査のために沖縄の西表島や長崎の志岐・対馬の海に潜り、一面に広がるサンゴの美しさに魅了されました。「サンゴは未知の部分が多く、可能性にあふれた学問領域。どのくらい生きられるのか寿命もはっきりと分からないなど謎が多く、画期的な発見があると従来の概念が大きく覆されることもあります。最近では、これまでのサンゴの分類体系が大きく変わるといった論文が発表されました」。学問としても魅力的なサンゴに、興味があつた。学問としても魅力的なサンゴに、興味があつた。学問としても魅力的なサンゴに、興味があつた。

永田さんの研究テーマである造礁サンゴ「キクメイシ」
学生時代、調査のために沖縄の西表島や長崎の志岐・対馬の海に潜り、一面に広がるサンゴの美しさに引かれた

日本の亜熱帯域に位置する西表島産と温帯域に位置する長崎産の「キクメイシ」の比較を卒業論文のテーマにし、研究を続けるために大学院へ進学。「水温の違い」等の仮説を立て、データを採取し実証。結果をまとめ、考察を重ねます。「これを繰り返すことで、論理的思考力が身に付きました」と永田さん。また、調査・研究を進める過程で先生方から、発想を広げるために一つの角度にこだわらず「さまざまな見方をする」ことや、考察が偏らないよう「データを客観的に分析すること」を教えられたと言います。



仮説を立て
データを採取し
実証。
結果をまとめ、
考察を重ねる。

これを繰り返す
ことで、

論理的思考力が
身に付く。

したが、それを努力で乗り越え、試合で活躍しました。アメフトは各ポジションの専門性が高く、しかも徹底した組織戦。試合では常に変化する状況を瞬時に把握し、選手一丸となって動くことが大切です。特に永田さんのポジションである「タイトエンド」は、オフライン(攻撃陣)とレシーバー(パスをキャッチする役割)の特性を兼ね備えたポジション。プロックやパスブレイクも要求されます。永田さんは、戦術やフォーメーションをスムーズに共有することが求められるチームプレーを通して、自分の考えをチームメイトに分かりやすく「伝える力」を磨きました。さらに、同じポジションの仲間たちと「タイトエンド」というポジションを、どう生かせば勝利に結び付けることができるか」を何度も話し合っており、自分たちの役割と責任に関する共通認識を養い、タイトエンド・プレーヤー全体のレベルアップを図ることができました。

学生最後の試合は一部リーグ昇格を懸けた入れ替え戦。骨折して試合に出場できなかった永田さんはアドバイザーやサポーターなど、自分でできることを考え、その役割に徹することで試合に貢献。その勝利の瞬間を「皆が一つになった、最高の思い出」と、感激を振り返りました。また、文系・理系の各学部から集まった個性豊かな仲間たちと切磋琢磨した経験は、さまざまな部署や人との調整が必要な現在の仕事にも生かされているそうです。

努力を続けながら しなやかに伸びていく

大学院でサンゴの研究をさらに深めた永田さん。修了のころ、沖縄美ら海水族館で飼育員の公募があることを知り、当時を思い出しながら、永田さんはこう話します。「先生について学会に出席したり、調査で沖縄の海に潜ったりすることも度々でしたから、このような情報が入りやすい状況だったのかもしれないね」。飼育員として入職し、後にサンゴの担当になったのは、永田さんのサンゴに関する研究の成果と、誠実に努力を惜しまない人柄だからだったでしょう。

水族館は24時間動いています。生き物たちの様子を常に観察して、微妙な変化も見逃さず迅速に対応するのも飼育員の仕事。その仕事の現場では、学生時代にアメフトで鍛えた体力が大きな武器になりました。

飼育員から、総合研究センターの契約研究補助職員、嘱託職員へ。永田さんは日々の業務と誠実に向き合い、着実にステップアップしていきました。その間も、学部・大学院と一貫して取り組んだサンゴの調査・研究を続け、完成させた論文は査読を経て日本サンゴ礁学会誌に発表。「日本の亜熱帯域と温帯域に



野外学習指導のときは、結論を直接伝えるのではなく、自分の言葉が「気付き」のきっかけになるようにと心掛けている

おけるキクメイシ *Dipsastraea speciosa* (Data1846) の骨格成長」という論文の筆頭執筆者として永田さんの名が記されています。「この論文が評価されて今の自分があります」と、永田さん。さりげない話しぶりですが、仕事と並行しながらの調査・研究・論文執筆。その大変さは想像に難くありません。「サンゴが好きですから」と爽やかに笑う永田さん。努力することを苦と思わない、しなやかな成長力は、多くの福岡大学卒業生に共通するものです。入職して6年目、永田さんは晴れて正職員となりました。

海の魅力を伝え環境の大切さへの 気付きを促していきたい

現在の部署では、海洋生物や沖縄の動植物に関する知識や研究成果を、子どもや一般の方に伝える業務を担当してい

一方的に

教わるのではなく

自ら気付く、

考え、学ぶ。

それが成長する

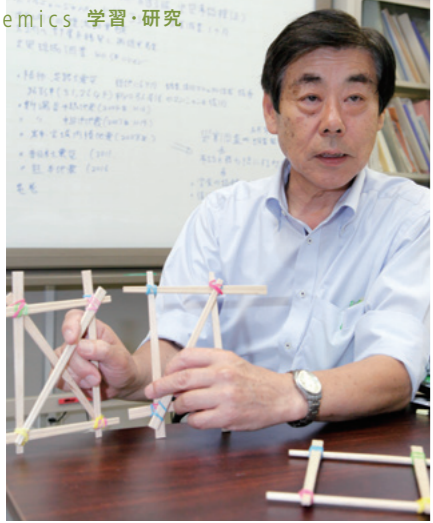
第一歩。



仕事と並行しながら調査・研究を続け、完成させた論文を日本サンゴ礁学会に発表した



ます。永田さん自身が講師を務めるときには、相手に合わせて表現に工夫を凝らします。「サンゴは植物ではなく骨と肉がある動物で、刺胞という毒針のようなものを持ちます。それを子どもたちに説明するときには、サンゴは刺胞動物」と学術的な用語を使うのではなく、「サンゴはイソギンチャクやクラゲの仲間」と話すと、興味を示してくれます。このような柔軟で多様な表現方法を見いだすには、「クラブ活動でのチームプレーで鍛えた」伝える力が大きな支えになっている」と永田さんは言います。また、企画によって講師を探したり、各部署の意見や要望を取りまとめたりするなど多くの人と「調整すること」が必要。このような能力も、多様なチームメイトと切磋琢磨した経験を通して身に付けることができました。「加えて、先生方に学んだ、発想を広げるために一つの角度にこだわらず、さまざまな見方をするこも、表現の幅を広げるのに役立っています」。財団の施設の一つ「美ら島自然学校」の管理も担当し、小中学校の授業との連携による野外学習指導、親子を対象とした自然学習イベントなどの開催に多忙な毎日です。これらの活動を通して「教えるのではなく、環境や海の大切さへの自主的な気付きを促していきたい」と、永田さん。「そのような学び方も、私が大学時代に身に付けたものです」と、最後に笑顔で付け加えました。



研究室を訪ねて

教授陣の卓越した研究を知り
個性的な人柄にも触れる—
「知」との貴重な出会いのページ

建築物の安全・安心に寄与する「建築防災学」の研究 熊本地震の発生翌日には被災地へ入り現地調査 災害に強い住まい造りを目指す

工学部 建築学科
古賀 一八
教授

- 研究テーマ
- 外壁落下防止に関する研究
 - 屋内健康に関する仕上げ材からのアプローチ
 - 防災意識の向上に関する研究



阪神・淡路大震災翌年の1996年3月、古賀先生も参加する「被災建築物の緊急補強技術開発委員会」が策定した鉄筋・鉄骨造建築物の補修マニュアル

被災住民の不安を解消した 建築防災学の知見

無残に倒壊した家並み。大きくひび割れ、傾いたビル。2016年4月に起きた熊本地震は、被災地に甚大な被害をもたらすとともに、いつどこで起こるか分からない大地震の恐ろしさをあらためて日本中に知らしめました。「わが国は数年前に震度7クラスの大地震に見舞われていました。多数の犠牲者を伴う大規模火災もしばしば起きています。建築分野において、こうした不慮の災害の影響を最小限にとどめるにはどうしたらいいか、常に思いを巡らせています」と、静かな決意を語る古賀先生の専門領域は、災害現地調査で得た知見を安全・安心な建築に生かす「建築防災学」。今回も地震発生翌日には被災地に入り、精力的な調査を行いました。

災害で不幸になる家族を これ以上増やしたくない

「例えばマンション。私が調べたかぎり、1階部分が潰れたものを除いて大半が修復可能です。たまたまテレビで、建て替えなど将来への不安を口にするマンション住民の方の映像を見たのを機に、「私が話します」と申し出て、住民の方々への説明会に参加。「このレベルのクラック（ひび割れ）が入っていても安全ですよ」「このくらいの傾きなら補修できますよ」と、過去の調査画像を見せながらお話しすると、どの方も不安な表情が一変。仮設住宅から自宅に戻る方も続出しました。」



熊本地震で被災したマンションのクラックを調べる古賀先生。「被災した建物を診断する際、『どう壊れたか』より『どう直そうか』という目で見ています」

「私の研究はいわば、不幸に向き合う研究。火災現場はもちろん、阪神・淡路大震災でも東日本大震災でも、現地で多数のご遺体と対面しました。だからこそ、二度とあのような不幸を繰り返したくない」。調査研究に注ぐ思いの深さから、先生自身の生い立ちへと、話題は深まります。「私の父は長崎の原爆孤児です。本人から聞いたことはありません。悲しみや辛さを胸にしまつて、懸命に働いて妻子を養ったのです。熊本地震の本震はわずか一分。一家だんらんの一分後に、降つて湧いたような災害で不幸になった家族も少なくないのです。やはり、そういう家族をつくってはいけないと思うのです。戦争でも、災害でも。ところが被害が大きかった益城町でも、全く被害を受けなかった住宅もあります。そんな災害に強い住まいや建物を造ることが、私の願いです。」

災害に強い建築技術の確立を目指す研究室では耐震効果の高い外壁材や難燃性の建材研究、防災訓練の研究など、幅広い研究に従事。

また長年にわたって、より効果的な防災施策に向けた提言も行っています。阪神・淡路大震災後の1996年には、直後の現地調査に携わった経験から、建築物補修マニュアルの必要性を国に働き掛け、自身もメンバーとなって鉄筋コンクリート造建築物の補修マニュアルを日本で初めて策定。福岡市で2013年に起きた病院火

災に際しては、防災点検上の問題点を指摘し、福岡市の消防マニュアルに反映されています。

「震度7の地震が起きても『今度の地震、大きかったねえ』と茶飲み話にできる。そんな社会が理想です」と話し、多忙な調査・研究の日々を送る先生。現地調査には極力、ゼミ生や大学院生を連れて行くそうです。先生が研究と実務の両面で培った、確かな実績と信頼感。不安に包まれた被災地の人々の心を優しくほぐす建築防災学の豊富な知見が、着実に次の世代に受け継がれています。

先生モノがたり

災害現地調査に欠かせない「被災度」診断グッズ

建築物の被災度を正確に測定し、火災や地震による建築物の崩壊のメカニズムを正しく探る意味で、災害現地調査は発生後できるだけ速やかに行うのが鉄則です。古賀先生はいつも出発できるよう、ワンボックスカーに寝袋とヘルメットを常備。これに懐中電灯、メジャー、建物の傾きの角度を測定する「さげ振り」、コンクリートのひび割れの度合いを測るクラックスケールといった、七つ道具を持って乗り込み、現地へ向かいます。「熊本の調査で役立つのが、福岡大学の腕章です。熊本は福大OBの方が多く、「私も福大出身です」「ぜひうちにおいでください」と会話が広がり、調査も進みました。」



福大で新発見・再発見

福眼力

学内の旬の出来事やスポットを写真で描き出します。

Many thanks to
13,225 visitors!

OPEN CAMPUS 2016 REPORT

学生広報サポーター **ゲーミーズ**

8月6日(土)に行われたオープンキャンパスにおいて、私たちゲーミーズは会場を訪れたたくさんの方々に取材・撮影をしました!当日の様子を次頁でたっぷりご紹介します!



キラキラ

まぶしいほどの初々しさ
可能性を秘めたまなざし。

迷うほど広大なキャンパスで
彼ら彼女らは抱えていた
「?」を「!」に変えていく。
まだ見ぬ道を、
自分の手で探していく。

たくさんのお出会いと
可能性が待っている
このキャンパス。

新しい一歩を、輝く未来へ。



写真は私たちゲームズが撮りました!



医・薬・スポーツ

● 医学部 ● 薬学部 ● スポーツ科学部



さまざまな心音を出せる人形で聴診体験!



高校生たちは、スポーツ指導も見学



高齢者に近い状態での日常生活体験



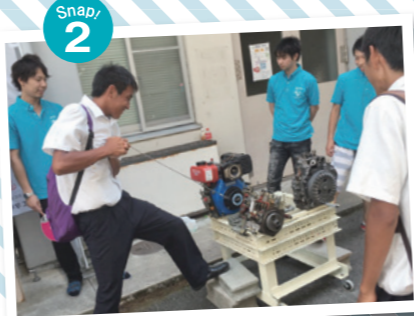
器具を使って薬品を量り取る



赤ちゃんの重さを体感

理系学部

● 理学部 ● 工学部



力を入れてもなかなか掛からないエンジン



ドローンの操作を教えてくださいました



台所でもできる DNA 抽出実験!



空気砲体験!



とても人気だった機械の制御体験!

文系学部

● 人文学部 ● 商学部
● 法学部 ● 商学部第二部
● 経済学部



模擬講義開始前の緊張した様子の高校生



授業を主催した学生たち



在学生が授業内容を説明



足を止めてもらえるような POP を考える



完成した POP と記念撮影

学生・教職員に聞きました!
「高校生や保護者の方と
関わってどうでしたか?」

高校生の皆さんに聞きました!
「福大のオープンキャンパスに
来てみて、どう感じましたか?」



工学部学生

経済学部教授

スポーツ科学部学生

人文学部教授

人文学部准教授

医学部学生

高校2年生 / 福岡県

高校3年生 / 福岡県

高校3年生 / 福岡県

高校2年生 / 熊本県

高校3年生 / 福岡県

Timeline

クリスさんの 自分年表

1 福岡大学留学生別科を経て、
福岡大学人文学部東アジア地域言語学科に入学
ロンドンでの高校時代、イギリスから日本に留学した人でも日本語能力試験 N2取得が精いっぱいという知り、「ぜひ N1を、そのためには日本へ」と決意して、来日。活気があり、日本語に加え、東アジア全域の言語と文化が学べる本学へ。



2 第二記念会場で筋トレに励む
ボディビルディングに興味があり、平日は第二記念会場のトレーニング室に毎日通い、筋トレに励む。学部を超えて友達の輪が広がった。

3 中国コースを選択
2年次から中国コースを選択し、中国語学習を軸に中国の文化や経済、国際関係まで幅広く学ぶ。

4 問ふさ子先生の中国文学ゼミを選択
中国のテレビドラマを見て、あらすじを日本語800字以内でまとめるなど、身近な題材を使った内容。同じ漢字でも中国と日本で意味が異なるなど、漢字文化の奥深さに興味津々。

5 英語教室でアルバイト
週に数回、英語の家庭教師を。土曜日には久留米の英語教室の講師も。

6 福岡のメーカーに内定
日本人学生と同様に3月から合同企業説明会に参加し、就職・進路支援センターのサポートを受けながらエントリーシートや履歴書を書き、会社説明会に積極的に参加。福岡の精密機器メーカーに内定。

7 日本語能力試験 N1に合格
8月、1年次から毎日15分以上の日本語学習を重ねたかいあって、長年持ち続けた大きな目標を達成。N1の認定基準は新聞の論説や専門書の内容を読みこなせるレベル。



クリスさんの目標

クリスさんの「充実 CAMPUS LIFE」POINT

徹底的に鍛えるのも、気軽に汗を流すのも自由

第二記念会堂トレーニング室

クリスさんが1・2年次時代は毎日4時間、4年次の今も2時間、たっぷり汗を流している第二記念会堂トレーニング室は、福大生が自由に利用できるスペース。ダンベルベンチ、フリーウエイトなど、本格的な鍛錬に対応した機器もそろっています。「月曜は胸、火曜は背中、水曜は肩、木曜は上腕二頭筋というように、毎日テーマを決めて自分を追い込んでいます」とクリスさん。

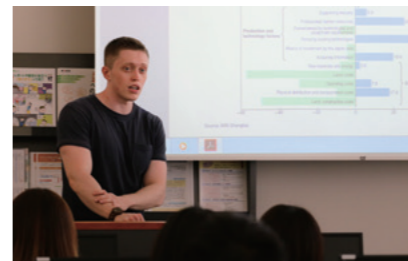


筋力トレーニングをすることで出会った友達



★学内お気に入りのスポット
中央図書館1階のブラウジングコーナーの閲覧スペース。ゆっくりできるスペースで、落ちていて本や資料が読めます。

★大学生活を送る上でのモットー
“You miss 100% of the shots you don't take.”
「チャンスに行動を起こさないと、成功はあり得ない」といった意味。高校時代からのモットーです。



★好きな授業
卒業論文のテーマは「中国の産業界のグローバル化」。アジア各国はもちろん、英米やヨーロッパとの経済関係を考察。将来の仕事とも密接に関係するテーマだけに力が入る。

カトラー・クリス さん
人文学部
東アジア地域言語学科
4年次生
CHRISTOPHER THOMAS CUTLER



充実 CAMPUS LIFE

福岡大学で磨いた日本語力と理解を深めた東アジア地域の文化や言語。
自信と希望を胸に、世界へ。

具体的な目標を定めよう！

人文学部東アジア地域言語学科4年次生のカトラー・クリスさんはイギリス生まれ、ロンドン育ち。高校時代に興味を持った日本語を学ぶため、はるばる福岡へ。福岡大学では日本語能力試験N1(旧試験の1級相当)に合格するほどの日本語力習得に加え、東アジア地域の言語と文化を幅広く理解。すでに就職活動も終え、現在は実り多い本学での日々を振り返りながら、卒業論文の仕上げに取り組んでいます。

「日本語を話したい」その一念で福岡へ

「今日はどうぞよろしくお願ひいたします」と丁寧語を交えて歯切れよく話すクリスさんは、人文学部東アジア地域言語学科4年次生。ロンドンの高校生だった16歳の時、動画サイトで聴いたJ-POPの日本語の響きの美しさに魅了され、日本語を学ぶために日本へ。「福岡を選んだのは街の雰囲気や良く、日本語もしっかり学べる予感がしたから。福岡で通った日本語学校の友達と学園祭巡りをしたのですが、一番活気を感じたのが福大。ちょうど留学生別科が開設されたのでここで学びたいと思い、受験を決めました」。別科で中国や韓国の留学生

と交流するうちに東アジア全体に興味があり、本学科へ学部生として進学しました。「中韓の各言語と文化を広く学べる本学科のカリキュラムは、他大学にはない大きな魅力の一つです」とクリスさん。就職活動は母国語の英語と福大で学んだ東アジア地域の知見が生かせる海外営業職に的を絞って活動し、福岡の精密機器メーカーに内定。現在は「中国の産業界のグローバル化」と題した卒論の仕上げに没頭中。

第二の故郷・福岡で社会人としての第一歩を

授業とは別に、クリスさんが1年次から欠かさず続けているのが第二記念会堂トレーニング室での筋トレ。授業とは別に、クリスさんが1年次から欠かさず続けているのが第二記念会堂トレーニング室での筋トレ。授業とは別に、クリスさんが1年次から欠かさず続けているのが第二記念会堂トレーニング室での筋トレ。

記念会堂トレーニング室での筋力トレーニングです。「胸囲をあと2センチ大きくしたい」などの具体的な目標を設定し、そこから逆算して日々のメニューを考える。この行動スタイルを、大学生活のあらゆる場面に応用しています。その最たる例が日本語学習。具体的な目標を大学卒業までに日本語能力試験N1合格に定め、逆算して勉強に日々励みました。「語学の勉強は地道な努力の積み重ね。気になつた言い回しや文法について、毎日15分以上、欠かさず勉強することを心掛けてきました」。その結果、4年次の夏に見事合格。念願を叶えた今、興味を持ってしているのは共通教育科目だとか。「心理学や社会学など、1・2年次の段階では日本語の意味を十分に理解できなかった科目を再履修。今は9割以上理解できるので、面白くて仕方ないです」と笑顔を見せるクリスさん。「福岡は第二の故郷。文系センター棟最上階から見える風景もいいし、辛子めんとたいこも好物です。大好きな街で社会人としての第一歩を踏み出す道を自ら選び取ったクリスさんに、現在の目標を尋ねてみました。「まずは海外営業のキャリアを積むこと。世界で活躍できる人材になることを目指します」。力強く答える目に、自信と希望に満ちた光が宿っていました。



バドミントン部

練習も試合もチーム一丸。思いを一つに全日本へ

年間行事

- 5月 福岡県学生バドミントン選手権大会
九州学生バドミントンリーグ戦大会
- 6月 九州学生バドミントン選手権大会
- 8月 西日本インカレ
- 10月 全日本インカレ
- 11月 中国四国九州学生バドミントン選手権大会

第一記念会堂3階のバドミントンコートに、シャトルを打ち返す音が響きます。練習は毎日4時間。2面のコートを2時間ずつ男女交代で使い、コートを使えない時間はランニングや体幹トレーニングに充てています。「体育館ではコート脇の黒板に次の練習メニューを書いて周知。気持ちが高めるため、音楽を流しながらテンポよく進めています」と、男子キャプテンの丸山直緒さん。やがてコート上では2対1やダブルスなど、試合形式の練習が始まりました。目にも止まらぬ速さで飛び交うシャトルを、懸命に追う部員たち。コートに熱気が漲ります。厳しい練習にも前向きに取り組み、限られた時間に集中して鍛錬を重ねるバドミントン部。「私たちの強みは、練習も試合も全員で取り組むチームワークです」と話す女子キャプテンの古澤咲さんの言葉通り、練習中も笑顔が目立ちます。2016年の目標は、男子は全日本の舞台に立つこと、女子は九州大会4連覇と全日本インカレでの勝利。苦しくても笑顔をやさず、自分たちらしく勝利を目指すバドミントン部に注目です。



ノック練習は20本10セット。日を追うごとにスマッシュの切れ味が増す

器楽部

選曲からアレンジ、演出まで自分たちで

年間行事

- 4月 前期部会
- 5月 春合宿
- 6月 音楽の夕べ(学術文化祭)部内演奏会
- 7月 前期定期演奏会
- 8月 夏の交流会
- 9月 後期部会
- 12月 後期定期演奏会部内演奏会

約60年の歴史を持つ器楽部は、現在78人が所属する大所帯。部員の奏でる楽器は、ギターやベースなどの弦楽器からトロンボーン、サクソといった管楽器、ドラムやキーボードも。日頃の活動はバンド単位での練習、月に1度は部員全員が集まる部会を開きます。バンドメンバーは前期と後期で組み直すのが慣例で、幹事の徳田夏海さんは「バンドは自分が組みたいと思うメンバーを誘ったり、演奏したい曲を軸にメンバーを集めたりするのが基本」と言います。各バンドが演奏するジャンルはロック、ブルース、ポップ、ジャズ、R&Bとさまざま。演奏する曲は全て洋楽です。また、自分たちでアレンジを加えるため楽譜に頼らず音源を耳で聴き取り音をつくりあげています。さらに、年2回の定期演奏会などの場に向けた曲選びからアレンジ、ステージ演出まで全て自分たちで行います。音楽のスキルはもちろん、日々の練習や交流を通して人間的にも成長しているそう。「ステージではプロ意識を持って、聴きに来てくれたお客さまのために一生懸命演奏します」。次の演奏会は年の瀬の12月、今年の集大成を披露します。



定期演奏会では弦楽器や管楽器に加えボーカルを披露する



My Teaching Style

人文学部 教育・臨床心理学科
添田 祥史 准教授

学生同士の経験を持ち寄りこの場でしか得られない価値ある学びを提供する

私のモットーは、まず授業を知的で楽しい時間にする。さらに、一方通行の授業ではなく、グループ分けをして学生同士が対話する能動的な空間にすること。そうした場づくりのために、アイスブレイクの時間を十分に取って、リラックスして授業に取り組めるようにしています。学生たちがお互いの経験を持ち寄りながら成長し、この場にはない価値を提供していくことが重要だと考えているからです。授業で得た知識や気付きを体系的にまとめる「学びのノート」を学生たちが作成することも私の授業の特徴。他人に説明できるよう理論的に整理し直すことで、理解がますます深まるのです。



学習内容を学生自らが体系立ててまとめる「学びのノート」

「グループワークはほぼ毎回の授業に取り入れていきます」と話すのは担当の添田先生。続けて、「自分たちでディスカッションすることで理解が深まり、知識が定着します。他人の考えを聞くことで考察の幅が広がり、新しい気付きを得る機会にもなるので、こうした時間を多く設けるようにしています」と、その意義を説明します。

「フィールドワークを行い「地元学」に取り組む」
学生たちは、七隈公民館と外部の専門家の協力を得て、「七隈地元学」にも取り組まれました。「地元学」とは、地域の魅力や価値を見つめ直し、より良い発展のために役立てること。ナビゲーター役の地元の方と共にグループ単位で地域を「歩いて」「見て」「聞いて」「調べる」フィールドワ

クを実践。その後、地元の方の説明や自らの目と耳で感じた七隈の歴史や魅力をポスターにまとめて公民館で発表。情報を共有し、地元の方々の意見を聞くことで、地域づくりに対する意識を養ったそうです。「本学には九州全域をはじめ、日本各地から学生が集まります。学生たちがそれぞれの地元に戻った時どのような形で、大学での経験を生かし活動してほしい。そんな

最後に先生は、「公務員や地域活動に携わる仕事でなくても、授業で得た知見や視点は、社会の多くの場で応用できるはずですよ。ぜひ、自らアクションを起こせる人、動くこととして誰かを支えられる人になってほしい」と、学生たちにエールを送りました。



「七隈地元学」で住民の皆さんと町歩き

生まれ育ったふるさとの地域づくりにどう貢献できるかを考えるようになりました

Students' Voice

七隈地区の方々と協同で取り組んだ「七隈地元学」のフィールドワークは、とても新鮮で面白かったです。普段何気なく生活している地域をゆっくり歩き、昔からそこに住む人の話を聞くことで、それまで気付かなかった地域の良さを発見できました。地

域づくりとはどうあるべきか、地域において学生が果たせる役割とは何かということについて考える機会を得たことも大きな収穫だと感じています。今後は、授業での経験を自分のふるさと（沖縄県）の地域づくりに役立てたいと考えています。



人文学部 教育・臨床心理学科 3年次生 奥浜 幸二朗 さん



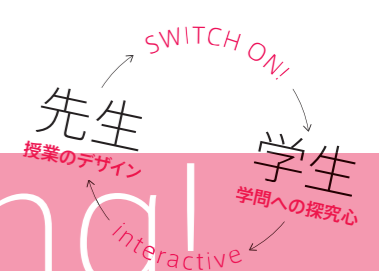
取材を行ったこの日、意欲的な表情で授業に臨む約40人の学生たちは、地域づくりの事例検討に取り組んでいました。題材は、鹿児島県鹿屋市に位置する柳谷集落・通称「やねだん」の地域活性化活動。この集落には120世帯・約300人が暮らしています。過疎高齢化が進む典型的な地域ですが、リーダーの下で住民が力を合わせ、サツマイモ栽培や、オリジナル焼酎開発など六次産業化（生産した農林水産物の加工食品製造・販売や、地域資源を生かした観光農園な



●今回紹介する科目は
人文学部 教育・臨床心理学科
専門教育科目
地域教育デザイン論

さまざまな事例を通して、まちづくりや地域再生の取り組みで「学習」や「教育」がどのように位置付けられているかを読み解いていきます。また、地域づくりにおけるリーダーやコーディネーターの役割や資質について学びます。

学びの現場から Active learning!



What's アクティブ・ラーニング?

教育開発支援機構 須長 一幸 准教授

アクティブ・ラーニングの手法「フィールドワーク」

フィールドワークは、教室を出て実際に現場に足を運ぶ経験学習の手法の一つで、現場に潜る課題の発見や、教室で学んだ仮説や理論の検証など、さまざまな目的のために活用できます。現場で生じ得るトラブルやリスクなどへの事前の備えと、フィールドワークでの経験を話し合ったりまとめる作業を通じた事後の振り返りが重要になります。

「フィールドワーク」の期待効果

フィールドワークでの経験は、五感への刺激やリアリティを伴うものであることが多いため、それらは学生たちの現場に対する参画意識や課題への当事者意識を引き出すことが期待できます。また、教室で学んだ知識を活用したり、それらを実際の経験と結び付けたりすることができるので、学修意欲の向上や知識の定着を期待することもできるでしょう。

教室でのグループディスカッションや
町を「歩いて」「見て」「聞いて」「調べる」
フィールドワークでその地域ならではの価値を見いだしていく

ヒポクラテスの系譜

精緻な技術が求められる 大腸がん腹腔鏡手術の体制がさらに充実

本科では、内視鏡や腹腔鏡（胸腔鏡）による手術を積極的に導入しています。どちらも通常の開腹手術に比べ患者さんの身体への影響が少ない低侵襲手術です。「とはいえ、ミリ単位以下の精緻な操作が不可欠であり、執刀医に熟練の技術が要求される手術です」と話す長谷川先生自身、前任の京都大学医学部附属病院において、長年にわたって大腸がんの腹腔鏡手術の権威



福大病院が九州で初めて導入したダビンチ。「本科でもできるだけ早い段階で活用したい」と長谷川先生は展望を語る

として知られる坂井義治先生の薫陶を受けた経歴を持ちます。そして今ではこの分野で海外からレクチャーに招かれるほどの第一人者。2015年6月、福岡大学病院に九州で初めて導入され、本病院では前立腺がん手術で活用されている内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」の手術実績も豊富です。「大腸がん、とりわけ肛門や自律神経に近い直腸がんの手術は難易度が高いのですが、ロボット手術なども積極的に活用しながら、肛門や生殖機能を温存できる低侵襲の手術体制を一層強化したいと考えています」と、先生は力強く展望を語ります。従来から大腸がんの手術症例数で九州屈指の実績を持つ本科。先生の着任により、さらなる充実が期待できそうです。



腹腔鏡を用いた大腸がん手術。豊富な手術経験と照らし合わせながら患部の状態を見極め、定みなく進めていく

幅広い専門医が結集し、 「肝胆膵」を含む消化器全領域の疾患に対応

消化器がんをはじめ 幅広い外科疾患を扱う拠点

ライフスタイルの欧米化や社会の高齢化などを背景に、大腸がんをはじめとする消化器がんの患者数は年々増加傾向にあります。消化器がんは、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、直腸といった消化管から肝胆膵（肝臓、胆道、膵臓の総称）まで非常に広範囲にわたる疾患。その全てに対応する幅広い医療を提供できることが、福岡大学病院消化器外科の設立した特長の一つです。

「診療する疾患の範囲だけでなく、診療内容も幅広い。開腹手術に加え、内視鏡や腹腔鏡を用いた手術、抗がん剤治療や放射線治療といった化学療法も行っています。また、胆道結石に対する内視鏡治療など、肝胆膵の対応症例も豊富です。食道アカラシアに対する内視鏡的筋層切開術（POEM）では全国でも有数の症例数を誇っています」と話すのは、2016年4月に消化器外科診療部長に就任した長谷川傑先生。

「前任の京都大学医学部附属病院もそうですが、近年、先進医療機関でも消化管と肝胆膵で診療科が分かれているところが増えており、就任当初は本科の対応領域の広さに驚かされました。同じ診療科で広い領域を扱う利点は、複数の疾患を抱えた患者さんへの対応にも表れています。例えば私の専門領域である大腸がんは肝臓に転移しやすい性質を持っていますので、定期的に行うカンファレンスとは別に肝胆膵や化学療法法の担当医と臨機応変に協議しています。CT画像を

見ながら初期の転移部分に化学療法を施す決定を下すなど、機を逃さずに必要な治療を行うことが可能です」と、先生は幅広い領域の専門医が結集する消化器外科の強みを説明します。

患者さんとの会話を大切に 「喜んでいただける医療」を提供

消化器外科が掲げるモットーは、患者さんに「喜んでいただける医療」を提供すること。その意味について、長谷川先生はこう説明します。「大切なのは、患者さんに十分納得していただいた上で、安心して治療を受けていただくこと。そのために、患者さんと常にコミュニケーションを取りながら、病気の状態や体力に応じた最善の治療方法を患者さんと共に選択していくことを重視しています。」

幅広い診療領域に対応できるという強みを、患者さん本位の医療体制に生かす。この姿勢は、3人の医師グループから成る9チームの充実した医療体制をはじめ、本科で進めているあらゆる取り組みに共通しています。「これからは、ロボット手術、遺伝子治療に代表される個別化治療など、より先進的な高度医療に対応すべく、積極的な学会参加など、スタッフ個々のレベルアップにも一層注力していくつもりです」と、先生は今後の方向性を明快に語りまします。地域における消化器医療の拠点として、福岡大学病院消化器外科はさらなる医療体制の充実にも挑み続けます。



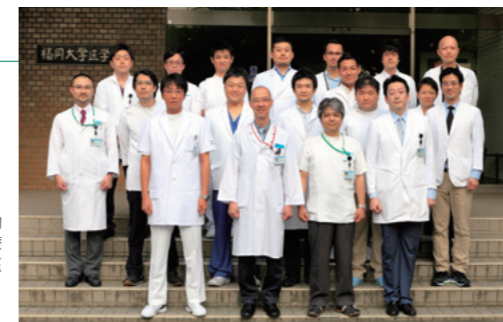
腹腔鏡手術では腹部に開けた小さな穴から種々の機器を体内に入れる。熟練の技術が不可欠



内視鏡的粘膜切除術（EMR）や、胆道結石に対する内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）など、内視鏡を用いた手術症例が豊富



カンファレンスには幅広い領域の専門医と研修医が集まり、個々の治療について詳しく検討



消化器外科のスタッフは総勢約20人。多種に及ぶ臓器や化学療法法の専門医が結集したチーム医療を通じて、「喜んでいただける医療」を提供

福岡大学病院 消化器外科

消化管に加え肝臓、胆道、膵臓といった消化器疾患全般に対応する幅広い外科治療を行っています。とりわけ、九州でも屈指の手術症例数を持つ大腸がんをはじめとする消化器がんの診療体制が充実。腹腔鏡・胸腔鏡や内視鏡を用いた先進的な手術、抗がん剤、放射線治療など多彩な治療方法を組み合わせ、患者さん本位の医療を実現しています。

イベントスケジュール

※学部や学年などによって異なる場合があります。

10月	商学部第二部秋季球技大会(9日)
	留学生研修旅行(15日)
	アジア圏協定校との学生交流セミナー(研修生受け入れ)(25日~11月4日)
11月	交換留学生募集[イギリス・フランス・ベルギー・ブラジル](26日~11月7日)
	●学園祭スケジュール ・地域パレード(10月30日) ※前夜祭(雅祭)(10月30日) ・前夜祭ライブ(11月2日) ・七隈祭/医学祭[医学部医学科](11月3日~5日) [ステージ企画・展示・模擬店] ・雅祭[商学部第二部](11月4日・5日)
	入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」募集(1日~12月12日)
12月	学園祭に伴う休講(4日・5日)
	A方式推薦入試 [スポーツ科学部](24日・25日) [その他の学部](27日)
	B方式推薦入試(26日)
1月	九州地区大学体育大会冬季大会(鹿児島県)(27日)
	地域枠推薦入試(27日)
	商学部第二部冬季球技大会(4日)
2月	商学部第二部クリスマスパーティー(18日)
	冬季休業開始(27日)
	事務休業(28日~1月4日)
3月	冬季休業終了(4日)
	後期授業再開(5日)
	後期授業終了(18日)
4月	後期定期試験(19日~28日)
	学部留学生入試(30日)
	一般入試[系統別日程](本学・地方2日)
5月	一般入試[前期日程](本学・地方3日~7日、11日・12日)
	医師国家試験(11日~13日)
	成績発表[4年次生以上 ほか](15日~)
6月	保健師国家試験(17日)
	海外研修生派遣[アメリカ・オーストラリア](18日~3月18日)
	看護師国家試験(19日)
7月	大学院春季入試(19日~22日)
	交換留学生派遣(中国・韓国・台湾)
	追・再試験(24日~3月1日)

本誌「福岡大学学園通信」に関する感想をお寄せください。より良い広報誌づくりのために、ご意見・ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

第55号(通巻225号)平成28年10月17日発行
編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)
 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
 TEL:092-871-6631(代) E-mail:fuqr@adm.fukuoka-u.ac.jp

オンライン版は [福岡大学学園通信](#) 検索

▶平成28年度「花嶋環境基金」の奨学金を5人に交付

6月28日(火)、工学部長室で「花嶋環境基金」の奨学金交付式が行われ、荒牧重登工学部長から、前村圭彦さん(工学部 社会デザイン工学科3年次生)、中島響平さん、中島健一さん(いずれも工学部 社会デザイン工学科4年次生)、佐々木魁斗さん、三浦明さん(いずれも工学研究科 資源循環・環境工学専攻修士課程2年次生)の5人に対し、奨学金が交付されました。

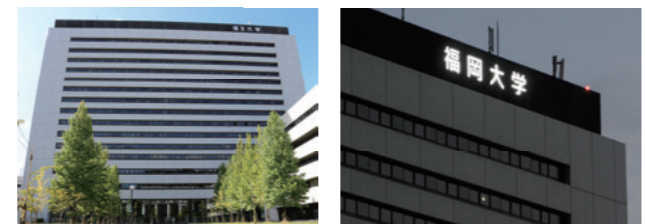
本奨学金は、花嶋正孝名誉教授(工学部土木工学科、現 社会デザイン工学科)の在職中の研究資金などを基に設立された「花嶋環境基金」から、環境保全技術の向上および発展に寄与する優秀な人材を育成するために交付されるものです。奨学生の皆さんのさらなる勉勵に期待します。



(写真左上から)前村圭彦さん、中島健一さん、佐々木魁斗さん、中島響平さん(三浦明さんは当日欠席)

▶タテ1.8m、ヨコ10mの巨大な大学名ロゴ電照看板がお目見え

ロゴが設置された場所は、文系センター棟屋上、地上60.7mの場所。夜はLED照明により煌々と光り輝く「福岡大学」の文字が、都市高速道路等の遠くからでも見ることができます。学生や教職員の帰属意識の高まりはもちろん、県外からの来学者にも一目で分かる新しいシンボルです。



▶本学オリジナルのミネラルウォーター「FU Power Water」発売

7月から福岡大学のオリジナルミネラルウォーター、「FU Power Water」(500mlペットボトル1本110円)が発売になりました。パッケージには本学の学風をイメージした「Active福岡大学」のロゴマークをデザイン。本学の活力や魅力、勢いを表現しています。販売はキャンパス内のコカ・コーラ自動販売機に加えて、第一・第二売店でも取り扱っています。また、ケース単位の販売も行っています。皆さんこの機会にぜひ、ご愛飲、ご活用ください。



お問い合わせ先:(株)福岡大学サービス 092-865-5522(本社)

▶環境教育啓発キャラバンカー 福岡大学「あまみずタメルンジャー号」始動

6月30日(木)、本学地域交流サロンで、環境教育啓発キャラバンカーの運用開始に伴う記者会見があり、屋外で出発式が行われました。本学工学部は、国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター(JST-RISTEX)から受託研究を受け、水環境に着目した環境教育を実施。キャラバンカーはその啓発を目的とし、雨水の活用技術や立体模型を紹介するとともに、子ども向けに「あまみずタメルンジャーZ」の寸劇などを行います。

今後、このキャラバンカーの利用を通して、まちづくりという観点から「環境の大切さ」や「自然・生態系の尊さ」などを分かりやすく伝えていく予定です。

記者会見終了後に、地域の信明保育園にて園児を対象に環境学習会を開催。「あまみずタメルンジャーZ」に扮した本学学生たちが、園児の前で雨水の大切さを伝えました。園児たちは、あまみずタメルンジャーたちの活躍を、興味津々に見入り「雨水を大事にする」ことを学んだようでした。



あまみずタメルンジャー号



ヘリオス前で、キャラバンカー「あまみず「あまみずタメルンジャーZ」から雨水の大切さを学ぶ園児たち「あまみずタメルンジャー号」テープカット式を実施



来てみて 話して こころの整理

例えば...

- 人間関係がうまくいかない
- 単位のことや心配
- 朝起きられない
- よく眠れない
- 授業に行くのがおっくう etc.

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談を受け付けています。どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか?相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

また、HDセンターでは、学生同士で日常生活上のさまざまな悩みや問題を一緒に考え、支え合うことを目的とした交流会や社会的場面で役立つスキルを学ぶセミナーも行っています。詳細はHDセンターのウェブサイトを確認してください。

費用 無料(相談、セミナー、交流会) **完全予約制**

相談時間 月・水・木・金/9:30~16:00 火/9:30~18:40

場所 学生部事務室棟3階(1階に学生課のある建物)

○本学学生のことであれば、ご家族・教職員の皆さまからのご相談もお受けしています。

ヒューマンディベロップメントセンター (HDセンター:学生相談室) TEL:092-871-6631(代)(内線2630)

●ウェブサイトもご覧ください。 <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm> ※お電話は平日の16:30までをお願いします。

福大生の法律に関するさまざまなトラブルに無料で相談に応じます。

例えば、こんなお悩みはありませんか?

- 敷金の返還がない...
- アルバイト先で不当解雇された...
- 交通事故に遭ってしまった... etc.

投資話を持ち掛けられたことはありませんか? それは詐欺かもしれません!

福岡で、大学生を狙った詐欺が急増しています。多くは、「投資」や「金を貸して」と持ち掛けて、消費者金融などからお金を借りさせ、最終的にそのお金を持ち逃げする手口です。友人の紹介や、SNSを使って勧誘し、「割のいいアルバイト」「利益が出る」と誘い出します。職業欄に、学生ではなく会社員と書いて借金を申し込むように指示されることもあります。言いなりになると、借金を背負う羽目になるだけでなく、あなたも詐欺罪に問われかねません。断る勇気を持ってください。おかしいと感じたら、専門家に相談してください。

Fukuoka Legal Clinic 福岡リーガルクリニック法律事務所 弁護士法人福岡リーガルクリニックセンター(福岡県弁護士会所属)

TEL:092-874-9292(受付時間:平日9~18時) FAX:092-863-9555 <http://www.fukuoka-legal.jp/>

福岡大学60周年記念館(ヘリオスプラザ)5階 ●休業日:原則として土・日・祝日 ※事前の予約であれば、土、日や時間外も柔軟に対応します。

Archive

あの日から続く道 <message.07>

あの年、あの人が、私たちの学園祭に

湧き上がる学園祭のステージに立ったのは、
その時代を彩ったミュージシャン、作家、野球選手、力士、プロレスラー、落語家、
映画監督など、実に多彩な方々。
学生ならではの感性と企画力が感動の学園祭を生む。

- 第16回 (1972年) 遠藤賢司
- 第20回 (1975年) 七福神、渚りール、妙安寺、
夢かぐら、紙ふうせん
- 第22回 (1977年) 庄野真代、藤本義一
- 第23回 (1978年) 来夢来人
- 第24回 (1979年) 町田義人
- 第25回 (1980年) ジューシー・フルーツ、長谷川法世
- 第26回 (1981年) THE MODS



- 第35回 (1990年) SION
- 第36回 (1991年) 下郎(泉谷しげるのユニットバンド)、
千代の富士
- 第37回 (1992年) 新日本プロレス(武藤敬司、
獣神サンダー・ライガー、橋本真也)
- 第38回 (1993年) L⇄R、栗山英樹
- 第39回 (1994年) 泉谷しげる
- 第40回 (1995年) THE HIGH-LOWS



- 第52回 (2007年) マキシム ザ ホルモン
- 第53回 (2008年) 10-FEET、サンボマスター
- 第54回 (2009年) かりゆし58
- 第55回 (2010年) マキシム ザ ホルモン
- 第56回 (2011年) ザ・クロマニヨンズ
- 第57回 (2012年) ORANGE RANGE、HEY-SMITH
- 第58回 (2013年) HOME MADE 家族
- 第59回 (2014年) 10-FEET
- 第60回 (2015年) ソナーポケット

1972



1982

- 第27回 (1982年) WAY、シャバナ、輪島功一
- 第28回 (1983年) スターダストレビュー
- 第29回 (1984年) SALLY
- 第30回 (1985年) ザ・ストリート・スライダーズ
- 第31回 (1986年) UP-BEAT、レッド・ウォーリアーズ、
Be-Modern、浅井慎平
- 第32回 (1987年) 憂歌団
- 第33回 (1988年) シーナ&ロケッツ、水野晴郎
- 第34回 (1989年) ECHOES

1986

1990



1996

- 第41回 (1996年) 忌野清志郎、瀬戸朝香
- 第42回 (1997年) フラワーカンパニーズ
- 第43回 (1998年) ARB
- 第44回 (1999年) ゴスペラーズ、326(ナカムラミツル)
- 第45回 (2000年) pre-school
- 第46回 (2001年) ラッパ我りヤ、AGGRESSIVE DOGS
- 第47回 (2002年) 麻波25、SOURCE
- 第48回 (2003年) PaniCrew、笑福亭鶴瓶
- 第49回 (2004年) SNAIL RAMP
- 第50回 (2005年) ガガガSP、電撃ネットワーク
- 第51回 (2006年) THE BACK HORN、the pillows

2007

2016

◀◀ そして今年、
“あのゲスト” が学園祭を盛り上げる!

※上記の年表は全てではなく、抜粋です。